

## <今日の伝言>

### ◆1/27「市長への質問と要請」呼びかけ人から

# 自衛隊への個人情報提供問題を 広く市民に共有いただくために

## この間の経過をご報告し、5つの運動課題を提案します

昨年8月29日に、187人のみなさんの連名をいただいて「市民にも議会にも何ら説明しないまま、2023年1月24日から新たな自衛隊募集事務にかかわる個人情報の外部提供事務を開始していたことについての質問と要請」（以下「質問と要請」）という文書を市長に提出してから5か月が過ぎようとしています。

最初の回答は9月29日に受け取りましたが、これは10月3日付け「伝言板」898号でご報告した通り「自衛隊への情報提供を望まない市民も一定数おられることを踏まえ・・・除外申請については検討・実施する」ということ以外は何も答えていないうえ、「本件に限らず国から示された通知については、基本的に尊重する」などと自治体の主体性を問われる重大な記述があるため再度の質問・要請を必要とするものでした。

そこで私たちは、10月31日に、①回答されなかった部分について再度の回答要請、②市民や議会への説明不足がおこった原因の究明と今後の具体的な改善策、③個人情報提供を望まない人については情報提供から除外する具体的な方法についての要請、④自衛隊への個人情報提供は義務ではなく、法的根拠は薄弱であることから、市としてはやるべきではないことの再説明、などを記した「再質問・再要請」を提出しました。

12月15日に出された「再回答」は「市として自衛隊への個人情報提供を行うべきではない」という私たちの要請の基本的部分で、依然として納得できるものではありませんでした。（10/31「再質問・再要請」、12/15「再回答」は添付ファイル参照）

この「再回答」を受けて私たちは、私たち5人と182人の賛同者が、市との間で問答を繰り返すだけでは、市の姿勢を変えるのは難しいと判断せざるをえません。

## 5つの運動課題を通して問題の共有を広げましょう

そこで私たちは、多様な分野で運動しておられるみなさん、議会と諸党・会派で奮闘しておられるみなさん、多くの市民のみなさんと問題を共有し、市民の世論の力で私たちの願いを果たしたいと考えました。

以下に5つの運動課題を提案させていただきますが、このような多面的な運動をごいっしょに工夫しながら進め、市との交渉・対話をねばり強く続けることに、みなさんのご協力をいただければと願っています。

1、12月の回答は、個人の申請によって個人情報の自衛隊への提供から除外する手続きを新設することについては、次回の自衛官募集事務への対応から実施することを明確にしました。それは私たちが投じた一石の効果だったかもしれません。その後、市に問い合わせ

せたところ、2月には名簿提供は求められておらず、次回とは今年の5~6月になると考えられるので、それに間に合わせるためには2月中に具体的な方法等を決めなければならないとのことです。ただし名簿提供除外手続きの周知の方法としては、回答では市ホームページや市報で知らせるとしか言っておらず、それは私たちが要請してきたことに照らしてもきわめて不十分です。この点についてはさらに市と交渉する必要がある、2月中にその点での市との話し合いを求めています。

2、しかし名簿提供除外手続きが新設されることは、自衛隊への名簿提供の問題点を広く市民に知ってもらう機会にもなりうると思われるので、この機会に多くの市民に広く知らせる活動を工夫する必要があります。

3、同時に、市議会でもこの問題についていろいろな角度から議論をしてもらいたいので、市議の方々と懇談の機会を設け、理解を深めてもらう活動を進めます。

4、これらの活動のなかで、繰り返し指摘し要請してきた現市政の市民に対する姿勢の問題についても広く考えあっていく必要があります。

5、同様に、政府の安全保障政策が「大軍拡・大增税」に大きく変質してきている状況に対して、今の自衛隊とこれからのあり方、平和と安全保障のあり方などについても対話の機会をひろげ、国政のゆがみから市民を守る防波堤としての調布市であることを求めることも重要です。

以上